

電子実験ノートの導入と共有・利活用ノウハウ

LIVE配信
アーカイブ配信

7日間視聴可能

★日時：2026年4月23日（木）10:00～16:00

★受講料：1名 49,500円（消費税込）

★会場：WEB受講のみ（Zoomシステム）

同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名44,000円

※LIVE配信／アーカイブ配信（7日間視聴可能）

★受講資料：PDF資料（受講料に含む）

研究・実験データの共有・データ蓄積方法、電子実験ノートの種類・特徴、データ共有基盤のメリット/デメリット、データ蓄積での注意すべき点、蓄積されたデータ分析の注意点、データ蓄積を行うための意識改革、研究・実験データの共有、利活用を促進の体制・条件について、豊富な経験と研究に基づき、実践的に分かりやすく解説する特別セミナー！！

【講師の言葉】

IoTやAIの普及により、製造工程以降のデータ利活用は急激に進展しています。

一方、公的研究機関であれ、民間企業であれ、R&D部門におけるデータの取り扱いが属人的なままであり、研究の信頼性が阻害されたり、効果的なデータの利活用がほとんど進んでいないのが実態です。

本講演では、まず、R&D部門のデータ共有、利活用の実情をお話させていただき、データ共有、利活用が進まない状況がなぜ発生してしまうのか？そのような状況にはどのような問題がはらんでいるのか？等を説明させていただきます。

次に、データ共有、利活用状況を改善するために必要な方策に関して、電子実験ノートを導入する際に必要な要件及び、各個人に必要な意識改革や会社としての体制づくり等を説明させていただきます。

最後に、電子実験ノートを導入、運用に陥りがちな落とし穴とそれらの回避方法に関して解説させていただきます。

【受講形式】WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。

【予備知識】特に必要ありません。R&D部門の自社での実情を知っていたり、知りたいと思っていることが必要です。

【受講対象】

- ・ データ管理でお困りの方
- ・ 自社及び他の一般的なR&D部門のデータ管理、利用、活用状況を知りたい方
- ・ R&D部門のデータに対して、AIを活用したい、させたいと考えられている方
- ・ R&D部門のデータの利用、活用を推進することのメリットを具体的に知りたい方 など

【習得知識】

- 1) 研究・実験データの共有、利活用状況を改善するためのデータ蓄積方法
- 2) 電子実験ノートの種類とその特徴
- 3) 電子実験ノートを含む様々なデータ共有基盤のメリット、デメリット
- 4) データ探査、分析を意識したデータ蓄積での注意すべき点
- 5) 蓄積されたデータを使ってデータ分析を行う時の注意すべき点
- 6) データ探査、分析を意識したデータ蓄積を行うための意識改革
- 7) 研究・実験データの共有、利活用を促進するためのシステムと体制の条件 など

【講師】株式会社キャトルアイ・サイエンス 代表取締役 上島 豊 先生

博士（工学）、元 日本原子力研究開発機構

1. はじめに

講演者のR&D実績とデータ共有の取り組みについて

2. R&D部門のデータ共有の実情

- 2.1 R&D部門のデータ共有状況
- 2.2 属人的データ共有状況が引き起こす問題
- 2.3 属人的データ共有状況が生み出される原因

3. データ共有状況を改善するために必要な方策

- 3.1 属人的データ共有状況を脱するために必要な方策
- 3.2 データ共有基盤としての電子実験ノートのメリット、デメリット及び選択基準
- 3.3 データ探査、分析を意識したデータ蓄積方法
- 3.4 データ分析は、どのようにして行うのか？
- 3.5 データ共有、利活用状況を改善するために必要なプロジェクトチームの作り方
- 3.6 プロジェクトメンバーに求められる資質

4. 電子実験ノートを導入、運用する場合の注意点

- 4.1 電子実験ノート導入によるデータ共有、利活用の改善例
- 4.2 電子実験ノート導入時に陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策
- 4.3 電子実験ノート運用後に陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策

5. まとめ

質疑・応答

【受講者の声】ここ数年で一番良いセミナーでした。現場で実務をやってこられた上でのノウハウがたくさん含まれており、自分自身が進めてきたデータベース基盤整備の方向性が間違っていない事が感じられて良かったです。

・まずは実験DB作成から取り組む事になりますが、その際の注意点(データセットの単純化・文字列データの排除等)が理解出来ました。その後のデータ蓄積やシステムとして構築する為には更に人間関係や組織形態も考慮し、取り組む必要があると認識出来ました。

・とてもわかりやすく、理解しやすい内容でした。実践的に紹介していただき参考になりました。

◆セミナーお申込要領

- ・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。
- ・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

◆申込書：2026年4月23日：電子実験ノートの導入と共有・利活用ノウハウ

会社名：

部署名：

住所：

TEL：

FAX：

氏名：

Email：

◆申込先



TH企画セミナーセンター



株式会社TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL: 03-6435-1138

FAX: 03-6435-3685

Email: th@thplan.com

URL: <https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画



サイト内
キーワード検索

0423
(開催日)